

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月22日

部局等名	下水道河川部	課かい名	下水道河川管理課	推進責任者氏名	森野 修作
------	--------	------	----------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	フォルダやキングファイルの再利用に努めた。
	具体的内容	事務用品(ファイル等)の再利用	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	職員による現場調査等を実施する際は、極力相乗りを実施した。
	具体的内容	公用車の効率的利用(相乗り等)の実施やエコドライブに努める	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	積極的に電子入札・電子契約を活用した。また、回覧物についても一部システム(ロゴチャット等)を活用して印刷物の削減に務めた。
	具体的内容	ペーパーレス(電子契約等)や両面印刷を推進し、電子化による資料の共有や減量化に努める	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

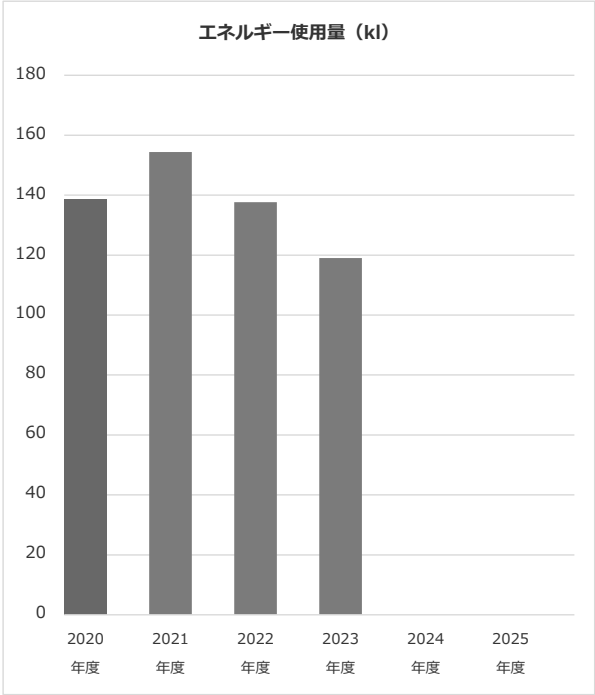
実績	前年度比	-2.8 %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	降雨量が少なく雨水ポンプ設備等の稼働時間が少なかったため			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	5376.9	5985.7	5334.6	4612.1	4483.0	
エネルギー使用量(kl)	138.7	154.4	137.6	119.0	115.7	0.0
対前年度比(%)	—	11.3%	-10.9%	-13.5%	-2.8%	-100.0%

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	各施設	計画	不要な照明の消灯を行う
		実績	不要な照明の消灯を行った
2	各施設	計画	設備更新時は、高効率な機器の設置を計画・施工する
		実績	LED照明器具への更新を行った
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	課内で取り組むべき行動（エコオフィス行動ルール）を共有し、C-EMSの理解を深めた。また、他のC-EMSに関する文書は供覧等により周知した。
法令遵守確認研修	■ 実施	同上
新任・異動者研修	■ 実施	新任者を含めた在籍者に対し、「実施計画の作成」に関する起案文の共有を行った。上半期に起案した「実施計画の作成」を紹介し、課内で取り組む対応の説明を行った。
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない		
☒ 要望伝達・協力要請が実施されている		
☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☒ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和7年5月22日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
事務作業や公共工事においては、節電や再生品の利用といった環境に配慮した対応を行っている。電子入札・電子契約についても昨年度と同様に積極的に活用して、ペーパーレスによる印刷物の削減を実施した。外部(庁内外問わず)からの連絡事項については、システム(ロゴチャット等)を活用し、更なるペーパーレスに努めた。また、令和6年度契約となった中島ポンプ場電気設備更新工事では、変換効率の高い変圧器やLED照明器具による設計・発注を行った。	事務作業や公共工事に関しては、引き続き環境に配慮した取り組みを実施していく。下水道施設に関するエネルギー消費量が多いため、大規模な施設・設備の更新時は省エネを意識した設計を行っていく。また、他雨水ポンプ場についても、積極的にLED照明器具への更新を実施していく。

■

□

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月30日

部局等名	下水道河川部	課かい名	下水道河川総務課	推進責任者氏名	小室 武司
------	--------	------	----------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	適切な在庫管理に努めた。 専用ゴミ箱の設置により、分別の徹底が進み、廃棄物の削減となった。また、電子契約やロゴチャットを活用する事で、紙の使用抑制に努めた。
	具体的内容	・物品等は、計画的に購入し、適切な在庫管理を行う。 ・古紙や缶・びん・ペットボトル等の分別排出・リサイクルを徹底する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	ノー残業デーを推進した。 離席時の画面オフやスリープモードの活用を徹底することで、エネルギー使用量の削減に取り組んだ。 帰庁時にPCのコンセント抜きを実施した。
	具体的内容	・ノー残業デーの推進(毎週水曜日及び給料日) ・PC未使用の際の電源をオフまたはスリープモードの徹底	
3	取組項目	E. その他	WBGTが31℃以上の場合は朝礼で熱中症への注意を促した。排水指導の現場確認の際には、こまめな水分補給やタブレット・冷却スプレー等に対応した。 【柳島記念館】 グリーンカーテンを育成により、建物の温度上昇抑制を図る。
	具体的内容	気候変動への適応(熱中症対策) ・暑さ指数(WBGT)を把握し、WBGTが31℃以上の場合の外出時は、熱中症に注意する。 【柳島記念館】 ・グリーンカーテン育成により、建物の温度上昇抑制を図る。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

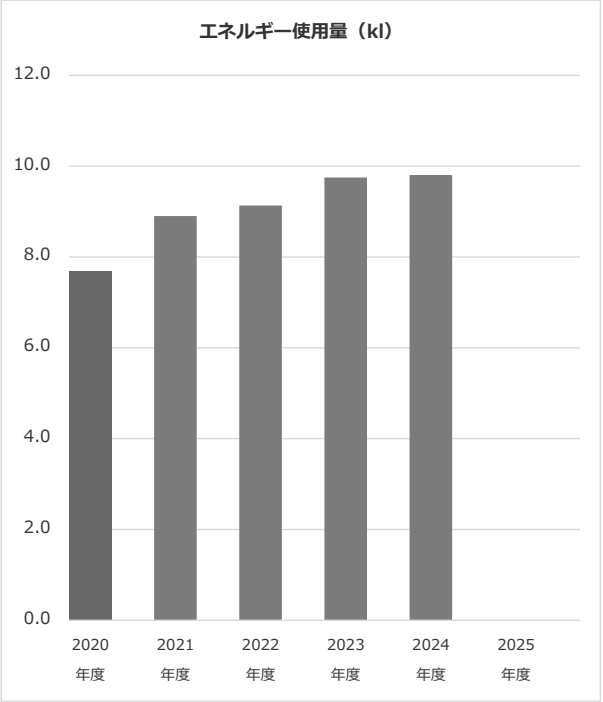
実績	前年度比	0.5 %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	空調設備改修工事により暖房が灯油から電気に変更になったことにより電気の使用量が前年度比で増加した。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	298.0	345.0	354.0	378.0	380.0	
エネルギー使用量(kl)	7.7	8.9	9.1	9.8	9.8	0.0
対前年度比(%)	—	15.8%	2.6%	6.8%	0.5%	-100.0%

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	柳島記念館	計画	グリーンカーテンの育成により、建物の温度上昇抑制を図る。
		実績	ゴーヤによるグリーンカーテンの育成を実施した。
2	柳島記念館	計画	施設利用者へ空調、照明利用の省エネ協力を依頼する。
		実績	張り紙や口頭で、施設利用者へ空調、照明利用の省エネ協力を依頼した。
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月7日に実施（対象者16名中10名参加。欠席者には別途決定事項の周知を実施）。C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、当課の取組目標及び具体的な取組を検討し、設定した。
法令遵守確認研修	■ 実施	5月31日に実施（業務責任者）。業務従事者・課内職員には別途決定事項の周知を実施。
新任・異動者研修	（選択してください）	
	（選択してください）	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☒ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【推進責任者による評価】

記入日 令和7年5月30日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
柳島記念館では、昨年度に続き、グリーンカーテンの設置や照明利用の省エネ協力など計画していた取り組みは概ね実施することができた。 課全体では、離席時の画面オフや電子契約、LOGOチャットの活用等により、紙の使用量削減やエネルギー使用量の軽減に努めることができた。	柳島記念館において、令和7年度に蛍光灯照明をLED照明器具に切替予定である。これにより消費電力の削減や長寿命による維持管理コストの低減といった効果が期待できる。今後も更なる省エネ化に取り組んでいく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月21日

部局等名	下水道河川部	課かい名	下水道河川建設課	推進責任者氏名	越地 知久
------	--------	------	----------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	個別のゴミ箱にプラゴミ専用の分別箱を引き続き設置するほか、裏紙の使用、紙類をはじめとする資源物の分別を徹底し、廃棄物削減を行った。
	具体的内容	廃棄物と資源物の選別を徹底し、廃棄物の削減を図る。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	計画的な工事発注の推進など、各職員が業務の進行管理を意識し、ノー残業デーを推進するよう努めた。
	具体的内容	ノー残業デーの推進	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	オンライン会議を活用し、紙資料の削減や会議の効率化に努めた。 また、昼休憩や長時間離席する際にノートPCを閉じたりスリープモードにしたりして省電力化に意識的に取り組んだ。
	具体的内容	省エネ・省資源を意識した会議や打ち合わせの実施	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

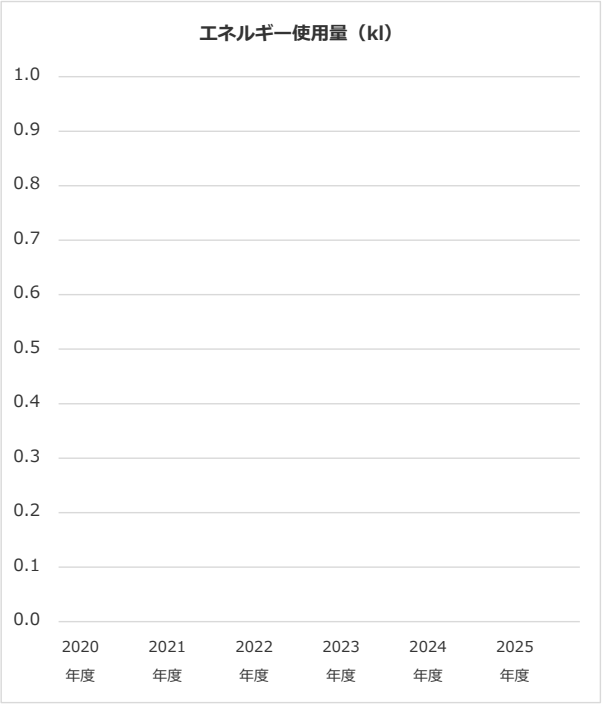
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	0.0	0.0	0.0	0.0		
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	0	計画	0
		実績	
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月12日の朝礼において永尾課長補佐より課の課員（15人）に対し、G-EMSの概要及び今年度の取組目標について説明を行ったうえで目標設定を行いました。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	0
新任・異動者研修	(選択してください)	
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☒ 関係する指定管理者・委託業者はない ☐ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【推進責任者による評価】

記入日 令和7年5月21日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
・ノー残業デーの実施については、発注工事の管理業務などがあったものの、可能な限り実施した。 ・オンライン会議の活用により、紙資料の削減が定着してきたほか、裏紙の利用など省資源への意識は浸透している。 ・個別のゴミ箱にプラスチックゴミを分別する箱を引き続き設置し、資源物選別の取り組みが徹底されている。 ・公共工事については、環境関係法令遵守が行われている。	・早期の工事発注に取り組むなど業務上やむを得ない状況を除き、引き続き可能な限りノー残業デーの取り組みを進め完全実施を目指す。 ・省資源、省エネルギーの取り組みについては、これまでの取り組みに加え、LoGoチャットやdesknet'sNEOの「回覧・レポート」機能などを活用することにより「必要以上に紙を出さない」など、引き続き課内で意識の共有を図りながら一層取り組んでいく。